

**総代理商品をAmazonで販売するときの
特殊なお作法**

はじめましての人もいると思うので

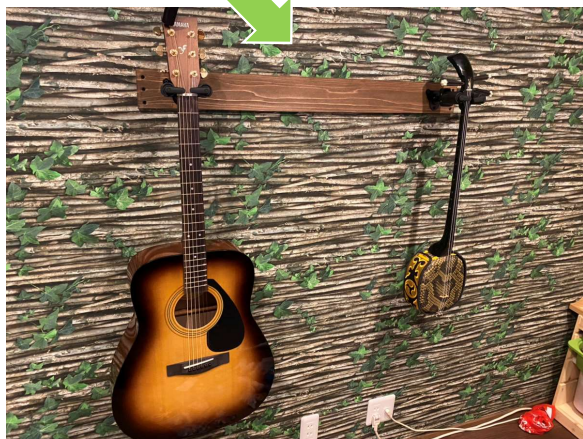
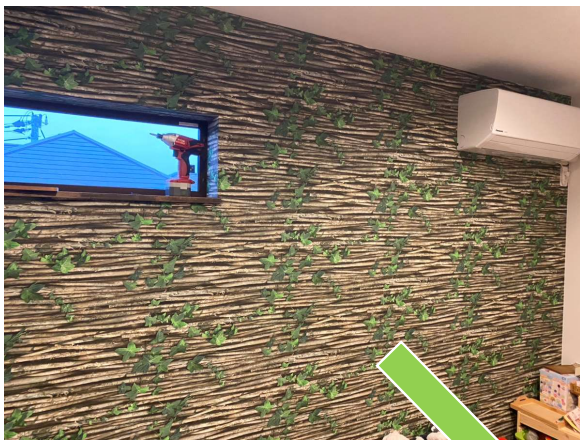
本編に入る前に軽く自己紹介

自己紹介

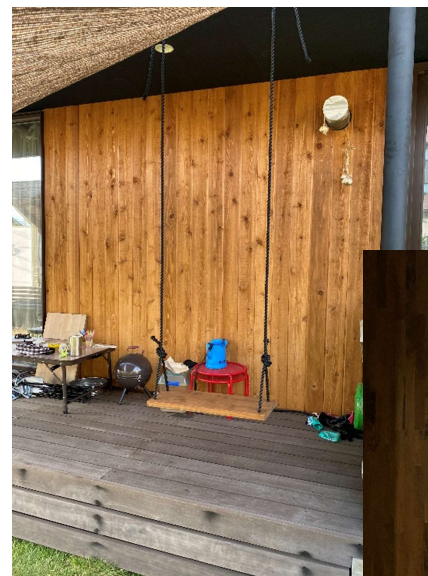
- ・ 兵庫県神戸市在住。4年前海の近くに移住
- ・ 妻と子供と楽しく暮らしている。毎日子供たちに晩ごはんを作っている
- ・ 2014年に副業で物販を始めて今法人7期目
- ・ 販路は自社ショップ、楽天、Amazon、BtoB
- ・ 得意：総代理ビジネス、電気の法律、知財など
- ・ 趣味：家、料理、DIY、釣り
- ・ 最近興味があること：地産地消、一日一善

最近の工作

ギターと三線ラックを壁に設置



家の中と外にブランコ製作



前置き終了

本編に入ります

今回なぜこの話をしようと思ったか

総代理取った商品を日本で販売するときの販売方法

Rakuten



自社ブランド品販売などと
大きく変わらない

amazon

かなり特殊

Amazonだけが特殊な理由

- ・グローバルレビュー制度

- ・新ブランド登録

→ これら2つは海外Amazonと連動している

知恵袋などでも実は何度も質問されているテーマですが、
BUPPANでちゃんと解説したことがなかったので今回解説することにした。

このルールを正しく理解すれば**強い武器**になる。

反面、うまく使えないと**かなり不利**になってしまうのでしっかり理解しましょう！

今日の講座の内容

グローバルレビュー制度について

- ・ レビューを紐付けるメリット
- ・ 海外レビューを紐付けるベストな方法
 - ・ レビューを紐付けで守るべき注意点
 - ・ どれぐらい紐付けるべき？
- ・ 僕が最近やられたレビュー不正事例
- ・ グローバルレビューの今後の行方

新ブランド登録について

- ・ ブランド登録のメリットとデメリット
- ・ 海外のブランド登録を活用する手法
 - ・ 海外でブランド登録されているか調べる方法
 - ・ 海外のブランド権限を使うための具体的手順
 - ・ ブランド名は本国のものと完全一致させる
- ・ ブランド名についての僕の失敗例
- ・ 日本公式サイトはAmazon販売で強力な武器になる

グローバルレビュー制度について

グローバルレビュー制度とは？

→各国Amazonで同一ASINはレビューが共通化される制度のこと

例えば同一ASINに

アメリカAmazonでレビュー100個

イギリスAmazonでレビュー15個

ドイツAmazonでレビュー8個

付いている場合、

そのASINで日本で出品すると最初から123個レビューが入った状態で出品開始できる

グローバルレビュー制度とは？

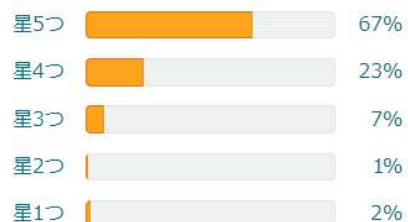
→各国Amazonで同一ASINはレビューが共通化される制度のこと

例えばこんな感じで日本のAmazonに表示される↓

カスタマーレビュー

★★★★☆ 星5つ中の4.5

1,406 件のグローバル評価



▼評価はどのように計算されますか？

他の国からのトップレビュー

すべてのレビューを日本語に翻訳



Atanas

★★★★★ ... roller for more than a year and it is great in backbone stretching

2016年5月7日に英国でレビュー済み

Amazonで購入

I have this foam roller for more than a year and it is great in backbone stretching. Whenever I have pain (non injury) in the back from sitting or work, I roll for a minute up and down on my back and it aligns the vertebrae in the lumbo-thoracal area PERFECTLY. You can do it on the floor

この例の商品はアメリカやイギリスでのレビュー数も合わせると1406個でレビュー平均は4.5
英語のレビュー内容を読む日本人はあまりいないが、レビュー1000件以上で星4.5はもう盤石

レビューを紐付けるメリット

- ・ Amazonで不正なくレビューが大量に稼げる
- ・ 海外でレビューが増えると日本でも勝手にレビューが増える
- ・ お客様の安心感からCVRとCTRが上がる
- ・ 競合からの嫌がらせレビューにもものすごく強くなる
- ・ 確定ではないがおそらくSEO上の加点がある

レビュー紐付けをしない理由はない！

海外ASINにそのまま出品してはいけない

- ・そのまま出品した場合、表記が英語になってしまう
- ・画像も本国そのままになってしまう
- ・もしそのASINの画像を変えると本国の画像も変わる場合があり、メーカーに大きく迷惑がかかる

解決する方法を解説します→

海外レビューを紐付けるベストな方法

海外レビューを紐付けるベストな方法

バリエーション組み法→海外ASINを子ASINの一つとして登録する方法



日本語ページの編集権を確保しつつ、レビューも組み込める現状ベストな方法

レビュー紐付けの注意点

- ・ 海外ASINそのままでは出品してはいけない
- ・ GS1コード(JANコード)は自社のものを使う
- ・ **ブランド名を海外Amazonと完全一致させる(大文字小文字まで)**
- ・ **商品カテゴリを海外Amazonと完全一致させる**
- ・ セラーセントラルの商品登録バリエーション組みができない場合でも、在庫ファイルを使うとできる場合がある
- ・ 在庫ファイルを使うと、エラーコードで原因が分かるのでおすすめ
- ・ 原因は不明だが反映まで1週間ぐらいかかる場合があるので、反映されない場合少し待ってみる。

どれぐらい紐付けたほうがいい？

- アメリカ、イギリス、ドイツ、色々な国に別ASINでレビューがある
- 海外でカラバリがたくさんある

どれぐらい紐付けておいたほうがいいか？

→なるべくたくさんやっておいたほうがいい

※以前は、たくさんASINがある場合多少温存しておいたほうが良いと考えてましたが、考えを改めました

たくさん紐付けたほうが良い理由

- ・レビューがたくさんあったほうが良い
- ・無在庫転売ヤーが勝手に使うことを防ぐ
- ・レビュー不正の材料に使われることを防ぐ

うちのブランドのUS版ページがレビュー不正に使われてました。
次ページで事例紹介します→

最近僕が体験した

US版のページをレビュー不正の材料に使われた事例

- USのレビューを紐付けようとしたところ、USのAmazonのASINのブランド名と商品名が改変されて日本で全く違う商品(ガラスフィルム)として登録されていた。
- 普通の方ではこんなことは不可能なので、何らかの闇の力でブランド名が書き換えられておそらくレビュー不正に使われたらしい。
- これを正しい情報に戻すのはとんでもなく大変。うちは5ヶ月ぐらいテクサポとやり取りしてるけど全然解消できずでもう諦め気味。

「国固有の画像アップロード」システムについて

- ・これが使えるようになると、本国のASINにそのまま出品できるのでバリエーション組み法をわざわざ使う必要がなくなる。
- ・バリエーション解除されてレビューがなくなるリスクが下がる。
- ・うちはこれ実験してるけど、原因は分からないが反映されない。
- ・もしうまくいった事例ある人は教えてほしい。

グローバルレビューの今後のゆくえ

- ・総代理店ビジネスにとって大きな武器であるグローバルレビューだが、残念ながらもなくなっていく方向らしい
- ・なぜかというと、市場規模の大きいアメリカでレビューをたくさん得た商品が強くなるのでヨーロッパのメーカーが相対的に弱くなるかららしい
- ・いつかなくなってしまうときに備えて、今のうちにグローバルレビューを使いつつ、日本でのレビュー獲得施策もしていくべき

ブランド登録について

ブランド登録について

Amazonブランド登録についての
間違った認識

ブランド登録は商標取らないと使えないので、
自社ブランド販売してる人は関係あるけど
総代理では関係ないんじゃないの？

→大きく関係があります！

総代理店でもブランド登録を使って販売を有利にできます。
でもやり方には総代理店特有のコツがあります。しっかり学んでほしい。

Amazonブランド登録とは？

- ・ Amazon特有のブランド保護システム
- ・ 2年ほど前に刷新され、より厳格に、権限が強くなった
- ・ その国で商標権があり、商標権者でないと使えないとされている
- ・ 実は海外メーカーが本国で商標を持っていてブランド登録していれば代理店に権限を付与することができる
- ・ 日本での商標の有無は関係なし。でもメーカーを権利者としてちゃんと取ろうね！

自社ブランド販売をやっている人はみんなブランド登録しています。
総代理店をやっている人にとっても、ものすごく強い武器になります。

Amazonブランド登録のメリット

- ・ ページ編集権が強くなり、商品タイトルなども改変できる
- ・ コピー品や転売ヤーを秒で排除できるようになる
- ・ A+(商品紹介コンテンツ)が編集できるようになる
- ・ スポンサーブランド広告と動画広告が使えるのでCPAが下げられる
- ・ ブランドストアが使えるようになる

Amazonブランド登録のデメリット

- ・ 権限付与を嫌がるメーカーもある
- ・ よく分かってないメーカーにやり方を説明するのがすごく大変

ブランド登録の安全性と販売へのメリットをしっかりと説明しましょう！
依頼の仕方についても今日の講座で説明します。

海外のブランド登録を使うまでの手順

海外のブランド登録を使うまでの手順

1. 海外Amazonでブランド登録されてるかどうかを調べる
2. こちらにブランド権限付与してくれるようメーカーに依頼
3. OKならこちらのセラーIDとメールアドレスをメーカーに伝える
4. メーカーが本国のブランドレジストリの問い合わせからテクサポに依頼
5. ブランド登録されましたというメールがAmazonから来る
6. 日本のブランドレジストリに自分のセラーアカウントでログインできるようになる
7. それだけだとSB広告とストアが使えない場合がある。その場合はテクサポにその旨連絡
8. 一週間ほどすると全ての機能が使えるようになる

海外でブランド登録されているかを調べる方法

- ・セラーズプライトのChrome拡張機能を入れておくと、ブランド登録の有無を表示してくれる。ただたまに間違ってることがある。
- ・海外Amazonにブランドストアがあるなら登録されてること確定
- ・分からない場合はメーカーに聞いたほうが早い
- ・もしブランド登録していない場合(普通はやってる)、メーカーにAmazonブランド登録のメリットを教えてあげて登録してもらおうと信頼関係構築にもつながる。

メーカーにブランド権限付与を依頼するときのやり方と依頼文例 (Powered by 河野さん)

※使うときは西の方角に向かって河野さんありがとうございますと3回唱えて使ってください。

本国のAmazonブランドレジストリ(セラーセントラルではない)の問い合わせから依頼してもらう

<https://brandservices.amazon.com/>

- 1.The brand owner enters AmazonUS(ブランド所有者の国のアマゾン)'s Brand Registry and goes to the inquiry screen there.
- 2.Please ask AmazonUS(ブランド所有者の国のアマゾン) to grant brand authority to the seller token "xxxx(自分のセラーID)" and email address "xxx@xxx(自分の登録emailアドレス)" on Amazon Japan.

よくあるのは、ブランドレジストリではなくセラーセントラルから問い合わせっていてやり方が分からないパターン

ブランド名を本国のものと完全に一致させることがものすごく重要

大文字小文字、全角半角を完全一致させる必要あり

理由：

海外レビューの結合ができない

完全一致していないとブランド権限が使えない場合がある

ブランド登録されているブランドの場合、テクサポからはブランド名の修正ができない場合がある

Amazon内部仕様「表記ゆれの補正」が妙に働き、ブランド名の修正や変更ができない場合がある

登録時に完全一致させておけば問題は発生しないが、一致していないと修正が難しく最悪レビューが集まっているページを捨てることになる。

ブランド名不一致による僕の失敗

ブランド名不一致による僕の失敗

まだブランド登録が厳しくない頃(旧ブランド登録の頃)に
日本語での検索でヒットしやすいように、ブランド名を英語+日本語で表記してた

GoPro(ゴープロ)

みたいな感じ

そのうちブランド登録が厳格化されてこの表記ではレビュー統合ができなくなった

GoPro(ゴープロ)→GoProに変更した

しかし、Amazon内部仕様の「ブランド名の表記ゆれの補正」が働き、内部的にはブランド名が変更できなくなった。

結局日本語レビューが100件近く集まっていたページを捨てて新しくページを作ることになった、、

日本公式サイトはAmazon販売で強力な武器になる

日本公式サイトはAmazon販売で強力な武器になる

.jpドメインを取って日本公式サイトを作ると、Amazonでの出品やページ修正に大きく役立つ

`https://ブランド名.jp`

例えば、

海外でブランド登録されている商品の場合、そのブランド名では日本で出品できない場合がある。

原因

そのブランドとGS1コード(JANコード)の事業者が一致していないから

対策

自分で作った.jpの公式サイトにGS1コード表を載せておき、GS1コードの登録証のコピーをテクサポに送ると難なくクリアできる

日本公式サイトはAmazon販売で強力な武器になる

ほかにも、闇の力でUS版のページを乗っ取られた場合でもUS版のUPCコードを公式サイトに載せておけばそれを正しさの根拠にテクサポにブランド名の修正依頼すると取り返せる場合がある

正直、自分で作る公式サイトなのでなんとでもできます。

でも、Amazon内部では公式サイト情報は完全に正しいとマニュアル化されているようです。あまり大きな声で言うとAmazonに対策されそうなのでこっそり使ってください。

.jpドメインを取るときの注意点

- ・メーカーによっては、代理店が.jpドメインを取るのを嫌がる場合がある。
- ・その場合、.jpドメインは日本の事業者しか取れないので、メーカー本体では取れないことを伝える。
- ・または総代理契約するときに.jpドメインについても定めておく。
- ・どうしてもダメな場合、ブランド名-japan.comとか公式っぽいドメインを試す。
- ・ブランド名-japan.comとか、.jp以外は検証していないのでどこまでいけるかは気になる。
- ・↑ 枝川さんか上野さん機会があったら実験して。

まとめ

まとめ

- ・ グローバルレビューを紐付けるならバリエーション組み法が現状ベスト
- ・ 日本で商標がなくても本国でブランド登録がされていればその力を借りることができる
- ・ ブランド名や登録カテゴリは完全一致させる
- ・ .jpドメインと公式サイトを作っておくとAmazon販売で有利になる

Amazonの仕様は特殊です。今回の方法をしっかり守って販売しましょう！